

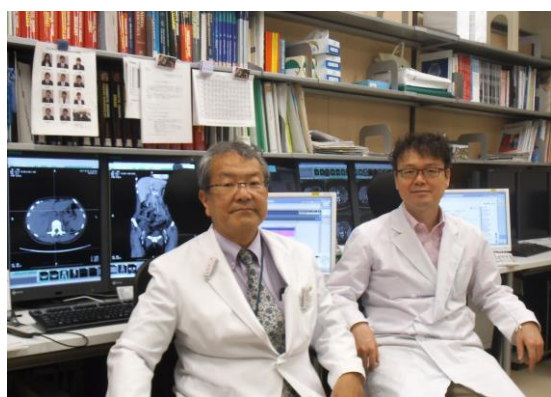
◆巻頭言 放射線診断科 診療科長 長谷川 真

昭和大学江東豊洲病院では、放射線診断科は内科系診療センターに属しています。常勤の放射線科診断専門医2名、放射線科専門医2名、非常勤の核医学診断専門医1名で、日々の診療を行なっています。

日常業務として、

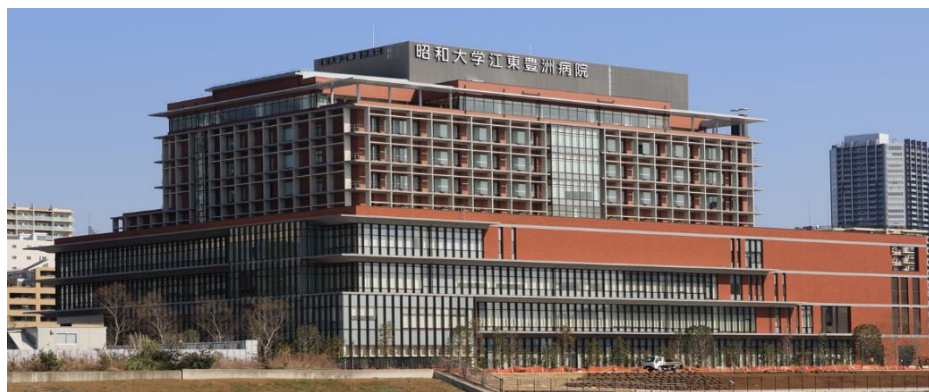
- 1、当院で行われるすべてのCT、MRI検査、核医学検査、依頼を受けた一部単純撮影の読影報告書作成
- 2、他院から検査依頼、予約を受けたCT、MRI検査当日の患者さん対応、カルテ記載、返信報告書作成
- 3、各科から依頼される他院画像の読影コンサルタント
- 4、IVR（画像下治療）と呼ばれる、放射線画像を利用した、動注、塞栓、ドレナージなどの治療および組織生検

主業務となる報告書作成の読影加算料を算定するには、翌診療日までに、8割以上の読影報告書作成が必要となります。このハードルは意外に高く、日曜、祝日も診療日である当院では、他院とは異なる忙しさがあります。開院以来、検査数は順調に増加しており、現在では月に2,000件以上の報告書作成を行っています。



院内他科とのカンファレンス、院外で行われるカンファレンス、症例検討会、学会発表をはじめ、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院放射線科との合同カンファレンス、勉強会、人事異動が行なわれています。

画像検査、治療、診断の依頼を受けた、診療各科、近隣医療機関に役立つ、画像情報、医療を迅速に提供することに心がけ、日々の診療にあたっています。画像検査、IVRの適応、選択などに関する質問には随時対応していますので、気軽にご相談ください。



昭和大学江東豊洲病院

第44号のトピックス

- 巻頭言 放射線診断科
長谷川 真
- インフルエンザについて
- 公開講座の実施報告
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

◆インフルエンザについて 呼吸器・アレルギー内科 岡田 壮令

今年は11月も過ぎようというのに台風が来襲したり、雨が続いたり、秋らしい秋を感じる事が少ないまま過ぎていますが、徐々に寒い日も増え、冬が近づきつつあることを知らされるようになってきました。

さて、冬といえば毎年のように問題になるのはインフルエンザです。最近ではインフルエンザ治療薬の開発も進み、昔に比べ治療の選択肢が広がりましたが、発病すればつらいですし、何より、流行をさらに広げてしまいかねません。やはりまずは予防が大切なことには、今も昔も変わりありません。

私たちができるインフルエンザの予防には大きく2つの柱があります。

1つ目はインフルエンザワクチン（予防接種）です。ワクチン接種をしてもインフルエンザにかかった、だから『効果がない』という方もおりますが、決してそうではありません。感染防止効果は70から90%とされ、やはり中には発病してしまう方もいるわけですが、効果としてはかなり高いものです。流行拡大防止にはやはり一番確実で効果的なものです。インフルエンザワクチンに対するアレルギーが明らかな人や、その時点での有熱者などの明らかな禁忌以外は妊娠予定の人、妊婦、高齢者も含めて接種可能ですので、皆さん進んでワクチン接種を受けてください。



2つ目はそれら医療行為によらない予防です。インフルエンザの感染経路は飛沫感染で患者さんから飛んだ飛沫、それを直接吸入したり、手指を介した間接的な接触により感染します。それを予防するにはまず、飛沫を飛ばさないこと、手洗いなどを行うことが重要です。具体的には以下に示す咳エチケットが推奨されています。

- 咳やくしゃみをするときはティッシュなどで押さえる。
 - ティッシュは適切に廃棄し、その後は手を洗う。
 - 呼吸器感染症状（咳、痰、鼻汁、咽頭痛など）のある患者さんはマスクを着用。
 - 呼吸器感染症状のある患者さんを診療するスタッフもマスク（サージカルマスク）を着用。
- これらの対策を行ってインフルエンザの予防につとめましょう。



◆第7回昭和大学江東豊洲病院公開講座の実施報告

11月18日（土）に第7回昭和大学江東豊洲病院公開講座が開催されました。

第一部では、「糖尿病の合併症予防のための生活のコツ」をテーマに、柏崎 純子看護師が、糖尿病の原因・合併症・予防方法について講演しました。



第二部では、「糖尿病と食事について～糖尿病とうまくつきあおう。メディアの情報ウソ？ ホント？～」をテーマに、鴨志田 恭子栄養科係長が、食事の面から講演しました。



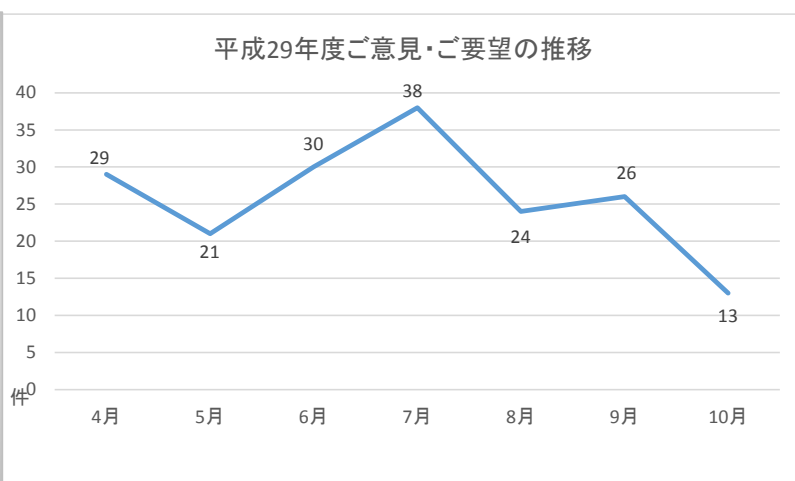
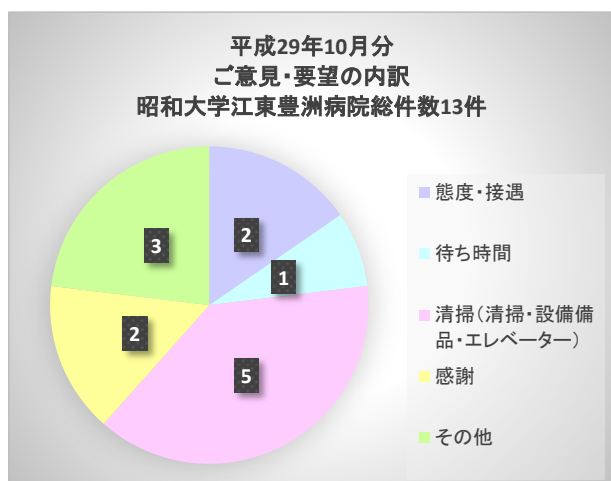
当日は、60名を超える多くの方々に参加してくださり、講演後の質疑応答では受講者の方々より多くの質問をいただきました。また、アンケートには「大変わかりやすかった」「定期的開催してほしい」とのお声も多くありました。

これからも地域医療の拠点として、このような機会を皆さまに提供していきたいと思っております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

次回は来年6月に開催予定です。詳細が決まり次第ご案内いたします。

◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>「病院だより」をホームページに掲載し、読めるようにしてください。</p>	<p>病院だよりは、当院ホームページに掲載しております。</p> <p>サイト上部の「お知らせ」からご覧いただけます。</p> <p>毎月更新を行っておりますので、是非ご覧ください。</p> <p>回答部署：管理課</p>



編集後記 管理課 渡邊 敬士

外の気温も一気に落ち、冬の寒さを実感するようになってまいりました。この時期はインフルエンザが流行します。今月号では、呼吸器・アレルギー内科岡田准教授によるインフルエンザの予防方法についての話が掲載されておりますので、是非ご覧いただき、インフルエンザに負けないよう予防接種と咳エチケットに気を配りましょう。

今年も残すところ1ヶ月となりました。今年皆さんどのような1年だったでしょうか。楽しかったこと、つらかったことなど色々あったと思いますが、残り1ヶ月、やり残した事のないようからだを大切にお過ごしください。

今後とも、皆さんに楽しく読んでいただける病院だよりを作れるよう尽力いたします。

